

敗戦78年目をむかえて

不戦を誓った「憲法9条」を守り

「新たな戦前」の時代認識にたち、共に闘い抜こう！

敗戦から78年目を迎えた。先の大戦で犠牲となった多くの人々に深い哀悼の意を表します。9条連は二度と戦禍を繰り返してはいけない決意を改めて打ち固めている。

昨年12月、岸田内閣は歴代内閣が「専守防衛」に逸脱するとしてきた「敵基地攻撃能力」の保有を決定した。「憲法9条」では「武力による威嚇又は武力の行使は国際紛争を解決する手段としては永久に放棄する」と謳われている。「敵基地攻撃能力の保有」は明らかに「武力による威嚇」であり「憲法9条」を形骸化し「専守防衛」を有名無実化させた。更に防衛予算の「倍増」をも実施していくことは、軍事大国化への道を掃き清めるものであり、断じて認めるわけにはいかない。こうした「実績」を踏まえ、岸田政権は憲法改正の国会上程もスケジュール化し、憲法改悪に突き進んでいくことは言うまでもない。

私たちは世界中に暗雲たれ込め、閉塞感が漂う時代だからこそ、あらためて日本国憲法の平和理念を高々と掲げ、戦争放棄を決意した「憲法9条」を「世界へ未来へ」発信し、一切の戦争政策に反対する。そして、「新たな戦前」の時代認識に立ち、為政者に翻弄され、騙されてきた「負の歴史」を繰り返してはならない。

9条連に結集する仲間の皆さん！

敗戦から78年目をむかえ、9条連は平和・人権・民主主義を守り抜き、戦争への危機感を募らせ、今一度「平和憲法」の理念を堅持し、未来へ受け継いでいくものである。

この間、全国津々浦々から培ってきた連帯をさらに強め、「憲法9条」を守り広めるため広範なネットワークを築き上げ、これからも一切の戦争政策に反対していこうではないか！ 共に奮闘しよう！

2 0 2 3 年 8 月 1 5 日

「憲法9条」－世界へ未来へ連絡会(9条連)